

バガヴァーン

ヤシャスとシュリー

スワミ・イーシュワラーナンダ

シッダ・ヨーガの「ダルシャンとマナン」の集い

2020 年 11 月 21 日 土曜日

シッダ・ヨーガの「ダルシャンとマナンの集い： 見ることと熟考することのシッダ・ヨーガの修行」へようこそ。私の名前はスワミ・イーシュワラーナンダです。皆さんにスワミ・イーシュワラーナンダです、と言って自己紹介をすることは、いつも私に大きな喜びを与えてくれます。私はシッダ・ヨーガの僧侶であり、シッダ・ヨーガ瞑想のティーチャーです。

シッダ・ヨーガ・ユニバーサル・ホールへと皆さんを案内するため、この集いが始まる少し前に、美しい写真や芸術表現の動画映像が流れていました。この動画でとても良いと思ったのは、それが世界中のシッダ・ヨーガ・サンガムの多くの皆さんから寄せられた写真や芸術表現で構成されていることです。あなたたちは、2020 年のグルマリーのメッセージ、「アートマー・キー・ブラシャーンティ 大いなる自己の平安」を学び実践する中で、これらの写真を撮り、これらの芸術表現を創作しました。

この感謝祭の月の間、私たちには実に多くの感謝すべきことがあります。私たちはたくさんの祝祭日とシッダ・ヨーガの記念日を祝います。

例えば、11 月はマハーヤートラ——1995 年と 1996 年のグルマリーの教えの旅——の開始の 25 周年記念です。グルマリーが教えの数々を授けたこの巡礼の旅に「マハーヤートラ」という名を与えた理由は、それが 7 カ月にも及んだからです。マハーヤートラには米国とメキシコの各地、そしてヨーロッパの国々への訪問が含まれていました。グルマリーは、マハーヤートラを「百万の心を訪れるツアー」と呼びました。それは実に多くの心が彼女の恩恵に触れ、彼女の神聖な存在、教え、そして愛によって目覚めたからです。

11 月 25 日には、インド中の人々は、ヴィシュヌ神が、雨季に相当する 4 カ月間の眠りから目覚めると言われるこの日を祝います。一年のこの時期、暗く曇った空が晴れ始め、日々は輝く太陽の光で満たされるようになります。

この祝祭日をたたえ、そして 2020 年のグルマリーのメッセージの学びと実践の一部として、皆さんにニャーネーシュワル・マハーラージによる「サグナーチー・シェージャ」というアバンガを聞き、それについて読むことをお勧めします。このアバンガはシッダ・ヨーガの道のウェブサイトの「グルマリーのメッセージの探究と学習」のページに掲載されています。それはヴィシュヌ神の生まれ変わりの一人であるクリシュナ神をたたえています。

そしてグルマリーのメッセージの学習の過程で、あなたが学び体験したことについて、あなた自身の熟考をシッダ・ヨーガの道のウェブサイトに投稿してください。

ヴィシュヌ神をたたえる日の翌日は 11 月 26 日ですが、今年はこれが米国では感謝祭の日に当たります。この日はシッダ・ヨーガの道において認知しているもう一つの記念日でもあります。11 月 26 日はシッダ・ヨーガの歴史上重要な日です。なぜならそれは、31 年前のこの日——1989 年——にグルマリーが、まさに初めてのグローバル・サテライト・シッダ・ヨーガ・シャクティパート・インテンシヴを開催したからです。このシャクティパート・インテンシヴはグルデーヴ・シッダ・ピートウから放送されました。

今日は3回目のシッダ・ヨーガの「ダルシャンとマナン」の集いです。

シッダ・ヨーガの道で、ダルシャンの修行は最高の敬意を持たれています。グルマーイは、ダルシャンは人の心の中で起こると説明してきました。この尊ばれる修行の背景にある神秘とは何でしょうか？

私はグルマーイが、ダルシャンはグルの身体を見ることに限定されてはいないと教えるのを聞いたことがあります。あなたは内側で目覚めるシャクティのダルシャンを体験することができます。あなたは精神的なことを学ぶ時、教典の知識のダルシャンを体験することができます。あなたは瞑想や自然の中で、真理のダルシャンを体験することができます。そして、あなたは自分自身の精神的な体験を通して、ダルシャンを持つことができます。

あなたの存在の内側での精神的な革命の瞬間、つまり深遠な内側での錬金術が起きたときにはいつでも——それがダルシャンなのです。ある人々にとっては、その瞬間は雷鳴と稲妻のように電撃的なものでしょう。そして他の人々にとっては、その瞬間はチョウの半透明な羽のように柔らかく優しいものです。

これらの集いでの「ダルシャンとマナン」の修行の焦点として、グルマーイは、「バガヴァーン」という言葉を与えました。インドの精神的伝統では、「バガヴァーン」は敬虔(けいけん)な心で神を呼ぶ言葉です。バガヴァーンは、体現化された神のことです。バガヴァーンとは、宇宙の全知全能の力です。バガヴァーンはあらゆる者の心の中に住む存在です。

世界中のあらゆる言語にあることですが、一つの言葉が複数の意味や、ニュアンス、言外の意味を持つことがあります。「バガヴァーン」はサンスクリット語の中のそのような言葉の一つで、

多面的な意味を持っています。つまり、神の名であることに加えて、「バガヴァーン」は、聖人あるいは聖なる存在である六つの神聖な資質を持つ者を呼ぶために、敬意を持って使われています。

古代インドの教典、『ヴィシュヌ・プラーナ』の一節は、これらの資質を定義しており、それ故に、なぜ「バガヴァーン」という言葉が探究者たちの心にとってこれほど大切なのかを説明しています。ではこの詩節の英語の翻訳を読んで聞かせましょう。

完全な統御、正義、栄光、豊かさ、英知、そして執着を持たないこと——これら六つの美德が共に、「バガヴァーン」という言葉の語源を構成すると知られている。¹

先週のシュブ・ディーパーヴァリーの「ダルシャンとマナン」の集いで、ヘザー・ウィリアムズが、バガヴァーンの二つの属性——完全な統御と正義の説明をしました。

今日、私はさらに二つのバガヴァーンの属性について説明しますが、それはヤシヤスとシュリー、すなわち栄光と豊かさです。

ヤシヤス

サンスクリット語のヤシヤスは、見事な幅のある意味を持っています。主要な意味は「栄光」、「壮麗」、「光輝」そして「名声」です。ヤシヤスはまた「称賛や尊敬に値すること」を意味しますが、それは偉大な存在が持つ豊かな美德や良い資質のことを指しているからです。

バガヴァーン・ニッテヤーナンダのような偉大な存在の内には、これらの資質があらゆる栄光で輝きを発しています。そのような偉大な存在を崇拝する時、私たちは自らの内側にこれらの神

聖な資質を発見したいという熱烈な望みを見返りの祝福として受け取り、これらの資質を育む力を与えられたと感じます。

ヤシャスは私たちが生涯をかけて行う、長期間にわたる良い行いによって達成されます。これらは他の人々を向上させ、調和を創り出し、世界にポジティブな変化とより偉大な理解をもたらす行為です。この考えは、インドの古典的叙事詩、『マハーバーラタ』に整然と要約されていて、そこではヤシャスを、他の人々のマインドの中に感嘆を生じさせる美德の壮大な集積として描写しています。

シュリー

では、サンスクリット語の言葉であるシュリーの意味について説明していきます。それはバガヴァーンのもう一つの神聖な属性です。

シュリーは「豊かさ」、「美」、「吉兆」、そして「幸運」として定義されています。シュリーはまた、女神マハーラクシュミーの美しい名前でもあります。彼女は、私たちの内側と周りの美、豊かさ、吉兆の資質を明らかにするシャクティ、神聖な力です。

シュリーという言葉は、「光あるいは輝きを拡散する」というサンスクリット語の動詞の語根に関連しています——言い換えると、神性の光ということです。ですから、シュリーはしばしば、神々、聖地、神聖な教典、そして精神の先生たちの名前の前の敬称として使われます。例えば、こう言います。シュリー・グル、シュリー・クリシュナ、シュリー・ムクターナンダ・アーシュラム、「シュリー・グル・ギーター」。「シュリー」はそれらの吉兆さを認め、光——私たちと私たち自身の内側の輝きとをつなげる光——を伝達する、これら神聖な存在や実体のそれぞれの能力を称賛する言葉です。

インドで、「シュリー」は尊敬や礼儀の言葉として使われています。ある地位や名声のある人々——例えば、素晴らしい人道的な働きをした人々、著名な家柄を持つ人や、年長者など——を言及するのに使われることもあります。

さらに、「シュリー」という言葉の形態は、「ミスター」や「ミセス」と同等に使われることもあります。男性は「シュリーマーン」そして女性は「シュリーマティー」と呼ばれることがあります。これらの敬称は文字通り「シュリーに恵まれている者」という意味です。

インドでは、「ありがとう」とか「ごめんなさい」というような社交上の常識は言語の中に組み込まれています——ですから、人々は感謝やわびを伝えるのにこれらの言葉をいつも声に出して言う必要はありません。同様に、他の人々に対する尊敬も、インドの言語と慣習の中に編み込まれています。それが、これらの言葉——シュリー、シュリーマーン、シュリーマティー——の使われている理由です。

ダルシヤンの修行は、見ることと見られることについてです。それは、人が敬愛する神を見ること、そしてその神に見られることについてです。それは、バガヴァーン・ニッテヤーナンダを見ること、そしてバガヴァーン・ニッテヤーナンダに見られることについてです。

マナン、熟考の修行は、ダルシヤンの体験と偉大な存在と共にいることから得る知識を具体化します。グルマーイは常に、あなたの意識を通り過ぎるそれぞれの考え、概念、あるいは意見を考え抜くことの大切さを強調してきました。

それについて考えてください。私たちのマインドの中で解消されないまま残っている思考の断片は、実にたくさんあります。これらの思考を解決させないままでは、あなた自身に対し

て失礼です。それらの思考をあなたが好もうと好むまいと、それらが楽しかろうと、不愉快であろうと、ポジティブであろうと、ネガティブであろうと、理由があって生じるのです。あなたがそれらの理由を詳しく調べ——そしてマインドの奥まった場所に未消化の思考をためないことは必要不可欠です。

マナンの修行で、あなたは自分自身にそこへ行くための——あなたが行きたくなかった場所へ行き、実際に「驚くほど素晴らしい」あなたという存在の一部を知るための——道具を与えています。グルマリーは、あなたがひとたびマインドの貯蔵庫に集めてきた自分自身の不必要で、面倒で、打ちのめされるようながれきを片付けてきれいにすれば——ひとたび自分自身の内なる存在を取り戻せば——素晴らしい英知に出合うでしょう、と教えています。あなたは自分自身の喜びを発見します。自分自身の快活さを掘り出します。自分自身の美徳を認識します。自分が幸せなことが分かり、そして自分自身のオアシスを創り出し、そこで「アートマー・キー・プラシャーンティ 大いなる自己の平安」を体験するのです。

バガヴァーン・ニッテヤーナンダの光り輝き、生き生きとした姿のダルシャンとマナンを実践してください。バガヴァーンの属性、ヤシャスとシュリーを、あなたの意識の中に保持してください。

ダルシャンとマナンのこの時間、シッダ・ヨーガ・ユニバーサル・ホールはクラシックピアノの心地よい音で満たされます。熟達したクラシック音楽家であり、SYDA ファウンデーションのスタッフメンバーでもあるカルロス・デル・クエトが演奏します。

大きくなったり小さくなったりする音のうねりが、あなたを心の部屋の奥深くまで運ぶに任せてください。

青空に舞い上がる鳥の羽を風が押し上げるように、音楽の響きに、チダーカーシャ、至高なる意識という澄んだ青い大空を飛び回る勇気をもらってください。

参加者たちは、意識にヤシャスとシュリーを保ちながら、ダルシャンとマナン、見ることと熟考することを実践しました。

その後、スワミ・イーシュワラーナンダが締めくくりの言葉を述べました。

皆さんがシッダ・ヨーガ・ユニバーサル・ホールに集い、ダルシャンとマナンの修行をするための時間を取ってくださったことに感謝します。

あなた自身の内側にあるヤシャスとシュリーの資質を発見し、育むことによって、あなたは意識的にポジティブなエネルギーと光があなたの毎日の生活を照らすようにさせています。あなたは、独りでいる時も、他の人々という時も、仕事をしている時も、一日を普段通り過ごす時も、これらの資質と共に居続けます。

これらの資質はあなたのものです——これらは、あなたが人生で好調な時も低調な時も、あなたと共に在り、あなたを支えています。鳥のことを考えてみてください。高く飛んでいても、低く急降下しても、鳥は知っています。そこに風があることを。風は鳥をいつも変わらず、支えている力です。

今年、2020 年、パンデミックのために、保健衛生の専門家たちは人々に、自宅で感謝祭のお祝いをするように助言していると聞きました。彼らは、人々がさまざまなテクノロジーを使って家族や友人たちとつながることを推奨しています——そのようにして感謝祭の精神を祝ってくださいと。

シッダ・ヨーガの道では、あなたは独りでいる時でさえ、お祝いができると知っています。それでも心は豊かな恩恵の体験をすることができるからです。ですから、人と喜びや愛を分かち合うことは、その人と直接会うことに依存しないと、あなたは理解しています。

私からあなたへの助言は、神に、グルに、母なる地球に、そしてあなたが愛して気に掛けている人々に、あなたの感謝を表現するための創造的な方法を見つけることです。また、困っている人を支援するための多くの方法があります。ですから、この試練の時に、どのようにあなたのコミュニティーに手を差し伸べ、恵まれない人々を助ける行動を起こすことができるか、ぜひ学んでください。

感謝祭の週を祝う中で、覚えていてください。ヤシャスとシュリーはあなたの内側で明るく輝いています。



© 2020 SYDA Foundation®. 著作権所有。

¹ *Vishnu Purāṇa*, 6.5.74; English rendering © SYDA Foundation 2020.